



2年ぶりの大会で、春の青森県王者を目指して
全力プレーを繰り広げる選手たち
15日、八戸東球場

県王者へ全力 春季青森県 高校野球開幕

春季青森県高校野球選手権が15日、八戸市などを舞台に開幕した。昨年新型コロナウイルス感染症の影響で中止だったため、2年ぶりの開催。各校ナインはプレーできる喜びをかみ締めながら、春の県王者を目指して激しく火花を散らしている。【13頁に詳報】

大会には各地区予選通過校と、今春のセンバツ出場により予選免除だった八戸西の計22校が出場。初日は同市の長根球場、東球場、七戸町総合運動公園野球場で1回戦計6試合が行われ、スタンドでは入場を許可された保護者や仲間が、勝利を祈って静かに見守っていた。

全試合原則無観客での開催。順調に日程が進めば、決勝は23日に長根球場で行われる。（文・林泰輔、写真・井深裕介）